

1 幼稚園

園児数 6,891 人で減少

3歳児入園者の割合は低下 幼稚園就園率は上昇

表 1 幼稚園の推移

(単位：園、学級、人、%)

年度	A 園数	B 学級数	C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員の占める割合
			園児数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	園児数 C/B	対前年度増減数	園児数 C/D	対前年度増減数	
平成20	99	488	8,208	△5.5	711	△1.3	16.8	△1.0	11.5	△0.6	93.7
21	99	481	7,823	△4.7	677	△4.8	16.3	△0.5	11.6	0.1	93.6
22	94	467	7,660	△2.1	664	△1.9	16.4	0.1	11.5	△0.1	93.8
23	93	466	7,411	△3.3	638	△3.9	15.9	△0.5	11.6	0.1	94.4
24	92	455	7,229	△2.5	647	1.4	15.9	0.0	11.2	△0.4	94.3
25	89	429	6,891	△4.7	615	△4.9	16.1	0.2	11.2	0.0	94.5
国立	1	5	103	△2.8	7	△12.5	20.6	△0.6	14.7	1.4	100.0
公立	31	116	1,507	△5.2	128	△8.6	13.0	△0.4	11.8	0.4	100.0
私立	57	308	5,281	△4.6	480	△3.8	17.1	0.4	11.0	△0.1	92.9

(1) 幼稚園数

幼稚園数は89園で、前年度より3園減少(新設1園、廃園4園)し、このうち休園中の幼稚園は3園(私立3園)であった。

設置者別にみると、国立が1園、公立が31園、私立が57園となっている。

(表1、統計表2、4、5)

(2) 学級数

学級数は429学級(国立5学級、公立116学級、私立308学級)で、前年度より26学級減少している。

収容人員別にみると、「1~15人学級」が151学級で最も多く、次いで「16~20人学級」が116学級、「21~25人学級」が80学級などとなっている。

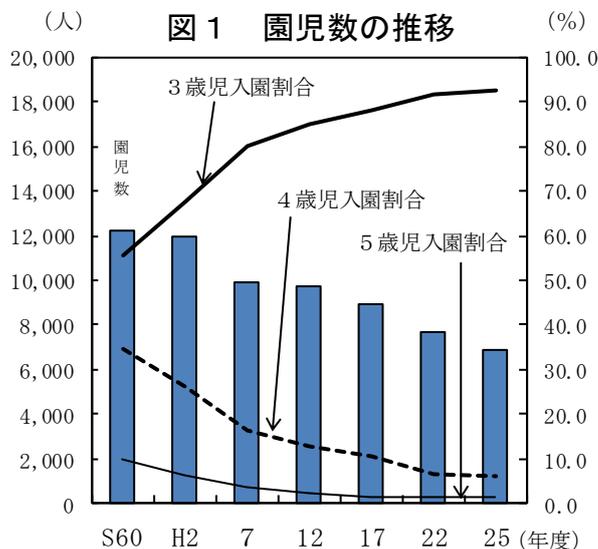
(表1、統計表7、8)

(3) 園児数

園児数は6,891人で、前年度より338人(4.7%)減少している。

男女別にみると、男子が3,423人で、前年度より212人(5.8%)減少し、女子が3,468人で、前年度より126人(3.5%)減少している。

設置者別では、国立が103人、公立が1,507人、私立が5,281人で、私立が全体の76.6%を占めている。



年齢別では、3歳児が2,168人で、前年度より115人(5.0%)減少し、4歳児が2,338人で、前年度より53人(2.2%)減少し、5歳児が2,385人で、前年度より170人(6.7%)減少している。園児数に占める3歳児の割合は31.5%(前年度31.6%)である。

また、3歳児入園者の割合は92.5%(前年度92.9%)である。

本務教員1人当たりの園児数は11.2人(前年度11.2人)で、全国の14.3人を下回っている。
(表1、2、図1、統計表3、15)

表2 年齢別園児数

(単位:人、%)

年度	計	3歳児	4歳児			5歳児			3歳児入園者の割合	
			計	3歳から入園	4歳から入園	計	3歳から入園	4歳から入園		5歳から入園
平成20	8,208	2,618	2,764	2,484	280	2,826	2,402	328	96	91.4
21	7,823	2,387	2,697	2,447	250	2,739	2,357	305	77	91.9
22	7,660	2,462	2,483	2,246	237	2,715	2,329	279	107	91.9
23	7,411	2,338	2,555	2,343	212	2,518	2,183	250	85	92.6
24	7,229	2,283	2,391	2,197	194	2,555	2,238	248	69	92.9
25	6,891	2,168	2,338	2,128	210	2,385	2,080	216	89	92.5
男子	3,423	1,058	1,196	1,093	103	1,169	1,016	110	43	92.5
女子	3,468	1,110	1,142	1,035	107	1,216	1,064	106	46	92.5
国立	103	26	37	23	14	40	26	14	—	72.8
公立	1,507	431	534	431	103	542	416	88	38	84.8
私立	5,281	1,711	1,767	1,674	93	1,803	1,638	114	51	95.1

幼稚園就園率(小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者の比率)は28.6%で、前年度より0.6ポイント上昇している。

(表3、統計表10、19)

表3 幼稚園就園率

(単位:人、%)

年度	幼稚園修了者数	小学校第1学年児童数	幼稚園就園率
平成20	2,996	10,168	29.5
21	2,804	9,673	29.0
22	2,745	9,586	28.6
23	2,695	9,327	28.9
24	2,531	9,034	28.0
25	2,554	8,929	28.6

注) 幼稚園就園率=幼稚園修了者数÷小学校第1学年児童数×100

(4) 教員数及び職員数

教員数(本務者)は615人(男子34人、女子581人)で、前年度より32人(4.9%)減少している。教員数に占める女子教員の割合は94.5%である。

職員数は111人で、前年度より14人減少している。

(表1、統計表9、12、14)

2 小 学 校

児童数 56,684 人で減少

第 1 学年で児童数が 8 千人台に

表 4 小学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1 学級当たり		本務教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
			児童数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	児童数 C/B	対前年度 増減数	児童数 C/D	対前年度 増減数	
平成20	206	2,454	61,135	0.1	3,667	0.1	24.9	△0.2	16.7	0.0	68.5
21	204	2,445	60,459	△1.1	3,679	0.3	24.7	△0.2	16.4	△0.3	68.2
22	203	2,430	59,870	△1.0	3,700	0.6	24.6	△0.1	16.2	△0.2	68.2
23	201	2,432	59,145	△1.2	3,717	0.5	24.3	△0.3	15.9	△0.3	67.5
24	199	2,384	57,959	△2.0	3,682	△0.9	24.3	0.0	15.7	△0.2	67.2
25	198	2,372	56,684	△2.2	3,685	0.1	23.9	△0.4	15.4	△0.3	66.9
国立	1	12	458	△2.1	18	0.0	38.2	△0.8	25.4	△0.6	33.3
公立	197	2,360	56,226	△2.2	3,667	0.1	23.8	△0.4	15.3	△0.4	67.1

(1) 学校数

学校数は 198 校（本校 198 校）で、前年度より 1 校減少（廃校 1 校）し、このうち休校中の学校は 2 校（公立 2 校）であった。

設置者別にみると、国立が 1 校、公立が 197 校となっている。

市町村別では、富山市 66 校、高岡市 27 校、射水市 15 校などとなっている。

学級数別では、7 学級の学校が 31 校（構成比 15.7%）で最も多く、次いで 8 学級の学校が 20 校（同 10.1%）、14 学級の学校が 18 校（同 9.1%）などとなっている。学級規模で学校数をみると、「11 学級以下（小規模又は休校）」が 99 校（構成比 50.0%）、「12～18 学級（標準）」が 70 校（同 35.4%）、「19 学級以上（大規模）」が 29 校（同 14.6%）となっている。

(表 4、統計表 17、26)

(2) 学級数

学級数は 2,372 学級で、前年度より 12 学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が 2,030 学級（構成比 85.6%）、複式学級が 24 学級（同 1.0%）、特別支援学級が 318 学級（同 13.4%）となっている。

(表 4、統計表 18)

(3) 児童数

児童数は 56,684 人（男子 29,119 人、女子 27,565 人）で、前年度より 1,275 人（2.2%）減少している。これはピーク時（昭和 33 年度、159,700 人）の 35.5%である。

学級編制方式別にみると、単式学級児童が 55,654 人、複式学級児童が 242 人、特別支援学級児童が 788 人となっている。

市町村別では、富山市 22,462 人、高岡市 8,536 人、射水市 5,451 人の順に多い。対前年度増減数をみると、富山市 345 人（1.5%）減少、高岡市 237 人（2.7%）減少、射水市 107 人（1.9%）減少などすべての市町村で減少している。

1学級当たりの児童数は23.9人（前年度24.3人）で、全国の24.4人を下回っている。
 本務教員1人当たりの児童数は15.4人（前年度15.7人）で、全国の16.0人を下回っている。
 （表4、5、統計表19、29）

表5 男女別及び学年別児童数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成20	61,135	31,179	29,956	10,168	10,128	10,201	10,121	10,174	10,343
21	60,459	31,027	29,432	9,673	10,152	10,132	10,205	10,121	10,176
22	59,870	30,613	29,257	9,586	9,680	10,151	10,126	10,210	10,117
23	59,145	30,228	28,917	9,327	9,594	9,704	10,151	10,145	10,224
24	57,959	29,764	28,195	9,034	9,349	9,587	9,692	10,156	10,141
25	56,684	29,119	27,565	8,929	9,030	9,326	9,572	9,685	10,142

（4）教員数及び職員数

教員数（本務者）は3,685人（男子1,219人、女子2,466人）で、前年度より3人（0.1%）増加している。教員数に占める女子教員の割合は66.9%である。

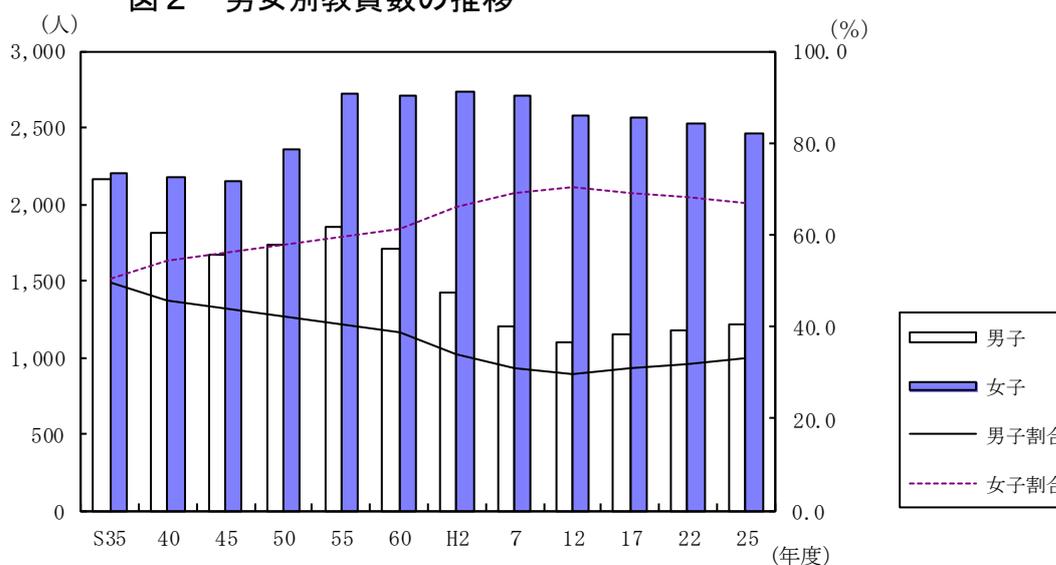
職員数は843人で、前年度より14人減少している。（表4、6、図2、統計表20、21、34）

表6 男女別教員数

（単位：人）

年度	計	男	女
平成20	3,667	1,155	2,512
21	3,679	1,170	2,509
22	3,700	1,178	2,522
23	3,717	1,207	2,510
24	3,682	1,208	2,474
25	3,685	1,219	2,466

図2 男女別教員数の推移



(5) 長期欠席者数

平成 24 年度間の 30 日以上の長期欠席者数は、平成 23 年度間より 10 人（2.6%）多い 393 人で、理由別では「不登校」が 194 人（構成比 49.4%）で最も多く、次いで「その他」が 125 人（同 31.8%）、「病気」が 74 人（同 18.8%）となっている。

全児童数（平成 24 年度児童数 57,959 人）に占める長期欠席者の比率は、全国の 0.80% より 0.12 ポイント低い 0.68% で、低い順に全国第 17 位（前年度第 16 位）であった。

また、全児童数に占める「不登校」の比率は、全国の 0.31% より 0.02 ポイント高い 0.33% で、低い順に全国第 29 位（前年度第 27 位）であった。

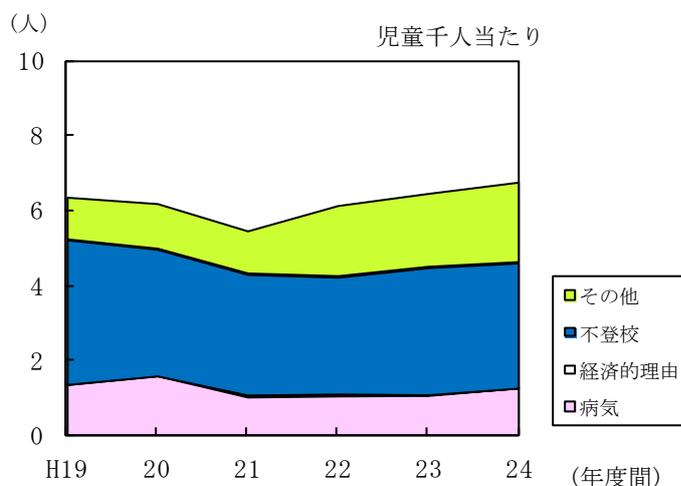
（表 7、8、図 3、4、統計表 23）

表 7 理由別長期欠席者数 (単位：人)

年度間	計	長期欠席 (30日以上) 理由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成19	389	83	1	236	69
20	379	97	1	207	74
21	330	63	3	195	69
22	368	64	3	187	114
23	383	64	1	201	117
24	393	74	—	194	125

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」などが含まれている。

図 3 長期欠席理由別推移



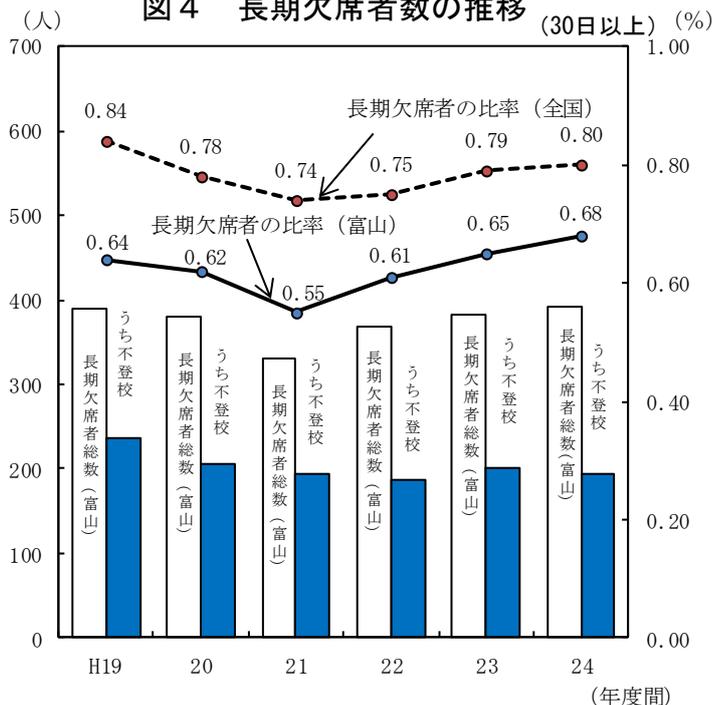
$$\text{児童千人当たりの長期欠席者数} = \frac{\text{各年度間の長期欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の児童数}} \times 1000$$

表 8 全児童数に占める不登校の比率

年度間	(単位：%)	
	富山県	全 国
平成19	0.39	0.34
20	0.34	0.32
21	0.32	0.32
22	0.31	0.32
23	0.34	0.33
24	0.33	0.31

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の児童数}} \times 100$$

図 4 長期欠席者数の推移 (30日以上) (%)



3 中 学 校

生徒数 30,372 人で増加

長期欠席者数は 5 年連続減少

表 9 中学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1 学級当たり		本務教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数	
平成20	86	965	30,443	△0.0	2,107	△0.3	31.5	0.1	14.4	0.0	47.8
21	84	1,020	30,918	1.6	2,141	1.6	30.3	△1.2	14.4	0.0	47.9
22	83	1,012	30,448	△1.5	2,153	0.6	30.1	△0.2	14.1	△0.3	48.0
23	83	1,032	30,500	0.2	2,168	0.7	29.6	△0.5	14.1	0.0	47.7
24	83	1,023	30,364	△0.4	2,152	△0.7	29.7	0.1	14.1	0.0	47.2
25	82	1,030	30,372	0.0	2,172	0.9	29.5	△0.2	14.0	△0.1	46.9
国立	1	12	479	0.2	23	0.0	39.9	0.1	20.8	0.0	26.1
公立	80	1,009	29,564	0.0	2,130	1.1	29.3	△0.2	13.9	△0.1	47.1
私立	1	9	329	1.2	19	△17.4	36.6	0.5	17.3	3.2	42.1

(1) 学校数

学校数は 82 校（本校 82 校）で、前年度より 1 校減少（新設 1 校、廃校 2 校）している。

設置者別にみると、国立が 1 校、公立が 80 校、私立が 1 校となっている。

市町村別では、富山市 28 校、高岡市 12 校、南砺市 8 校などとなっている。

学級数別では、12 学級が 9 校（構成比 11.0%）で最も多く、次いで 11 学級が 6 校（同 7.3%）などとなっている。学級規模で学校数をみると、「11 学級以下（小規模）」が 38 校（構成比 46.3%）、「12～18 学級（標準）」が 28 校（同 34.1%）、「19 学級以上（大規模）」が 16 校（同 19.5%）となっている。

（表 9、統計表 36、38）

(2) 学級数

学級数は 1,030 学級で、前年度より 7 学級増加している。

編制方式別にみると、単式学級が 896 学級（構成比 87.0%）、特別支援学級が 134 学級（同 13.0%）となっている。

（表 9、統計表 37）

(3) 生徒数

生徒数は 30,372 人（男子 15,529 人、女子 14,843 人）で、前年度より 8 人（0.0%）増加している。これはピーク時（昭和 37 年度、88,658 人）の 34.3%である。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が 29,992 人、特別支援学級生徒が 380 人となっている。

市町村別では、富山市 11,951 人、高岡市 4,742 人、射水市 2,851 人の順に多い。対前年度増減数をみると、射水市 61 人（2.2%）増加、富山市 55 人（0.5%）増加、小矢部市 33 人（4.3%）増加など 7 市町村で増加し、南砺市 69 人（4.8%）減少、入善町 35 人（4.6%）減少、立山

町 25 人 (3.2%) 減少など 8 市町で減少している。

1 学級当たりの生徒数は 29.5 人 (前年度 29.7 人) で、全国の 28.8 人を上回っている。

本務教員 1 人当たりの生徒数は 14.0 人 (前年度 14.1 人) で、全国の 13.9 人を上回っている。
(表 9、10、統計表 40、51)

表10 男女別及び学年別生徒数の推移

(単位：人)

年度	計	男子	女子	1 学年	2 学年	3 学年
平成20	30,443	15,508	14,935	10,059	10,539	9,845
21	30,918	15,726	15,192	10,318	10,061	10,539
22	30,448	15,586	14,862	10,106	10,303	10,039
23	30,500	15,550	14,950	10,089	10,106	10,305
24	30,364	15,507	14,857	10,197	10,074	10,093
25	30,372	15,529	14,843	10,122	10,187	10,063

(4) 教員数及び職員数

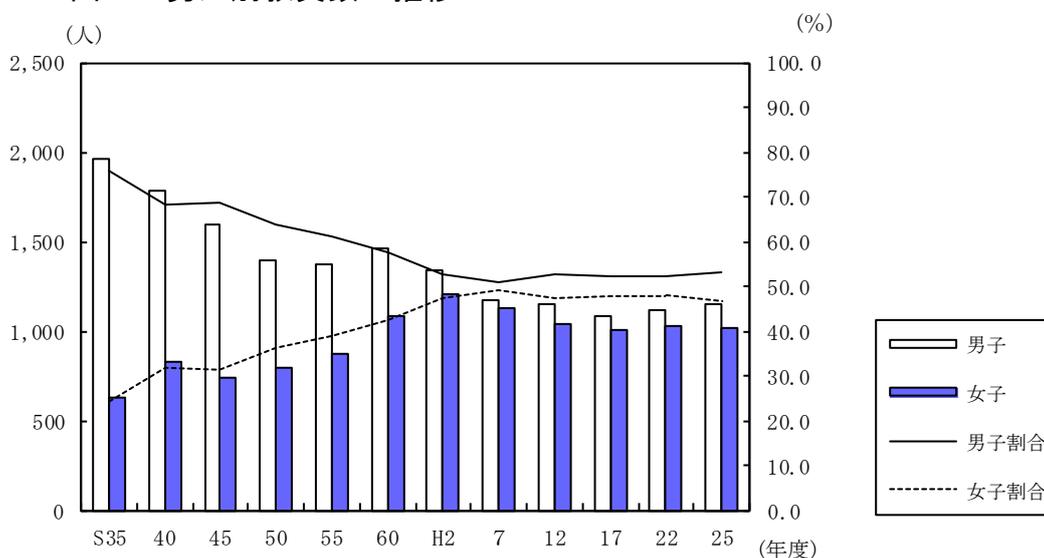
教員数 (本務者) は 2,172 人 (男子 1,154 人、女子 1,018 人) で、前年度より 20 人 (0.9%) 増加している。教員数に占める女子教員の割合は 46.9% である。

職員数は 308 人で、前年度より 4 人減少している。(表 9、11、図 5、統計表 45、49、52)

表 11 男女別教員数 (単位：人)

年度	計	男	女
平成 20	2,107	1,100	1,007
21	2,141	1,116	1,025
22	2,153	1,120	1,033
23	2,168	1,133	1,035
24	2,152	1,137	1,015
25	2,172	1,154	1,018

図 5 男女別教員数の推移



(5) 長期欠席者数

平成 24 年度間の 30 日以上長期欠席者数は、平成 23 年度間より 1 人 (0.1%) 少ない 834 人で、理由別では「不登校」が 601 人 (構成比 72.1%) で最も多く、次いで「その他」が 146 人 (同 17.5%)、「病気」が 87 人 (同 10.4%) となっている。

全生徒数 (平成 24 年度生徒数 30,364 人) に占める長期欠席者の比率は、全国の 3.42% より 0.67 ポイント低い 2.75% で、低い順に全国第 4 位 (前年度第 5 位) であった。

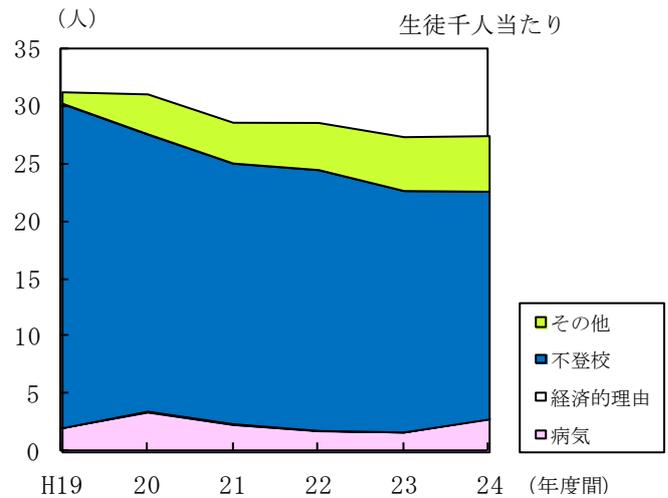
また、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国の 2.57% より 0.59 ポイント低い 1.98% で、低い順に全国第 3 位 (前年度第 4 位) であった。 (表 12、13、図 6、7、統計表 42)

表12 理由別長期欠席者数 (単位:人)

年度間	計	長期欠席 (30日以上) 理由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成19	952	64	—	858	30
20	946	104	4	733	105
21	885	73	3	700	109
22	871	56	1	690	124
23	835	53	—	640	142
24	834	87	—	601	146

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」などが含まれている。

図6 長期欠席理由別推移



$$\text{生徒千人当たりの長期欠席者数} = \frac{\text{各年度間の長期欠席者}}{\text{各年5月1日現在の生徒数}} \times 1000$$

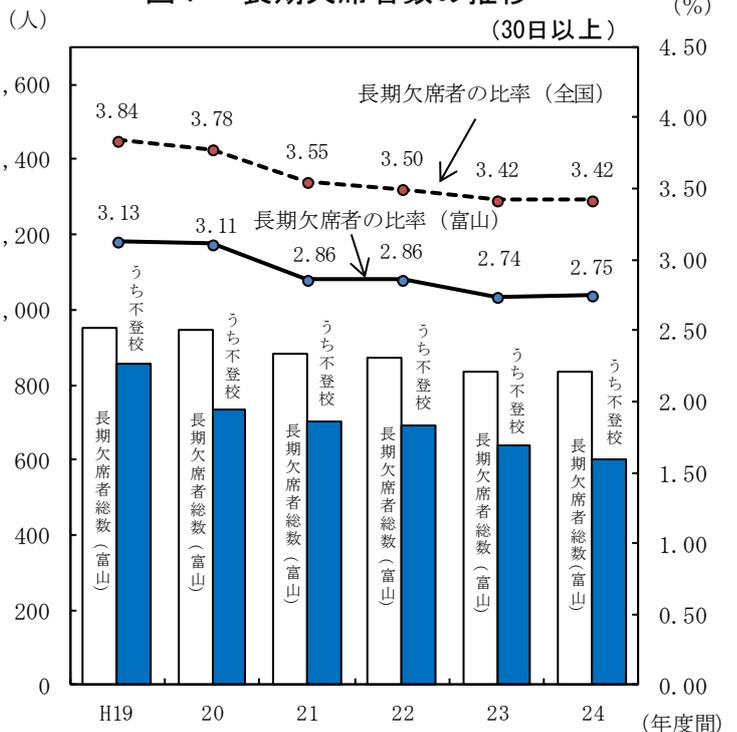
表13 全生徒数に占める
不登校の比率

年度間	(単位:%)	
	富山県	全国
平成19	2.82	2.91
20	2.41	2.89
21	2.26	2.77
22	2.27	2.73
23	2.10	2.65
24	1.98	2.57

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の生徒数}} \times 100$$

注) 全国の不登校の比率は、中等教育学校 (前期課程) を含まない。

図7 長期欠席者数の推移



注) 全国の長期欠席者の比率は、中等教育学校 (前期課程) を含まない。

4 高等学校

【全日制課程・定時制課程】

生徒数 28,864 人で減少

表14 高等学校（全日制課程・定時制課程）の推移

(単位：校、人、%)

年度	A 学校数	B		C		本務教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
		生徒数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	生徒数 B/C	対前年度 増減数	
平成20	58	28,379	△1.6	2,332	△0.6	12.2	△0.1	35.2
21	58	28,110	△0.9	2,318	△0.6	12.1	△0.1	36.0
22	61	28,613	1.8	2,341	1.0	12.2	0.1	36.2
23	61	28,753	0.5	2,354	0.6	12.2	0.0	36.3
24	53	29,279	1.8	2,344	△0.4	12.5	0.3	36.6
25	53	28,864	△1.4	2,308	△1.5	12.5	0.0	37.1
公立	43	22,711	△1.7	1,893	△1.3	12.0	△0.1	38.7
私立	10	6,153	△0.2	415	△2.8	14.8	0.4	29.9

(1) 学校数

学校数は 53 校で、前年度と同数である。

設置者別にみると、公立が 43 校（全日制 37 校、定時制 5 校、併置 1 校）、私立が 10 校（全日制 10 校）となっている。

学科別では、1 学科のみの単独校が 34 校（普通科 22 校、農業科 2 校、工業科 5 校、商業科 2 校、その他 1 校、総合学科 2 校）、総合校が 19 校（「普通科と職業科 1」の学校が 11 校、「普通科と職業科 2 以上」の学校が 7 校、「職業科 1 と総合学科」の学校が 1 校）となっている。普通科を設置している学校は 40 校（構成比 75.5%）である。

男女別学校数では、男子校及び女子校は無く、男女共学校が 53 校となっている。

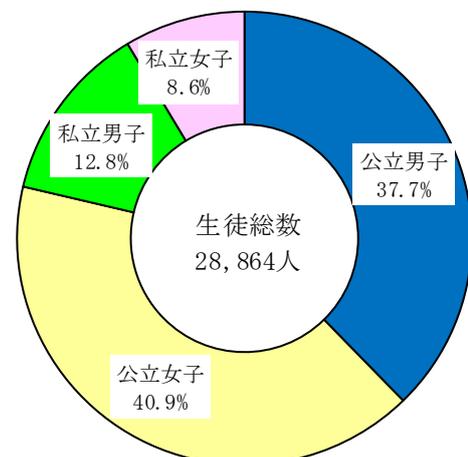
(表 14、統計表 55、56、57)

(2) 生徒数

生徒数は 28,864 人（男子 14,578 人、女子 14,286 人）で、前年度より 415 人（1.4%）減少している。これはピーク時（昭和 40 年度、65,436 人）の 44.1% である。

設置者別にみると、公立が 22,711 人（男子 10,895 人、女子 11,816 人）で、前年度より 401 人（1.7%）減少し、私立が 6,153 人（男子 3,683 人、女子 2,470 人）で、前年度より 14 人（0.2%）減少している。この結果、公立が 78.7%、私立が 21.3% の割合であった。

図 8 設置者・男女別生徒数の構成



課程別では、全日制本科が27,502人(男子13,981人、女子13,521人)で、前年度より340人(1.2%)減少し、定時制本科が1,085人(男子474人、女子611人)で、前年度より72人(6.2%)減少し、全日制専攻科が127人(男子52人、女子75人)で、前年度より7人(5.8%)増加し、定時制専攻科が150人(男子71人、女子79人)で、前年度より10人(6.3%)減少している。

本科生徒数を学科別にみると、普通科が18,540人(構成比64.9%)で最も多く、次いで工業科が3,532人(同12.4%)、商業科が2,297人(同8.0%)などとなっている。

本務教員1人当たりの生徒数は12.5人(前年度12.5人)で、全国の14.1人を下回っている。

本年度の本科の入学者数は9,618人(全日制9,281人、定時制337人)で、前年度より203人(2.1%)減少し、このうち他県所在の中学校卒業者が44人(全日制39人、定時制5人)、過年度中学校卒業者が26人(全日制8人、定時制18人)であった。

(表14、15、16、17、図8、統計表69、70、71、72)

表15 学年別生徒数(本科+専攻科)

(単位:人)

年度	計	男子	女子	本 科					専攻科
				計	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	
平成20	28,379	14,253	14,126	28,057	9,505	9,344	9,124	84	322
21	28,110	14,036	14,074	27,811	9,314	9,254	9,141	102	299
22	28,613	14,309	14,304	28,298	10,043	9,116	9,037	102	315
23	28,753	14,425	14,328	28,446	9,579	9,837	8,938	92	307
24	29,279	14,688	14,591	28,999	9,846	9,396	9,643	114	280
25	28,864	14,578	14,286	28,587	9,645	9,646	9,203	93	277

表16 学科別生徒数(本科のみ)

(単位:人)

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成20	28,057	17,897	609	3,725	2,228	251	641	119	144	1,034	1,409
21	27,811	17,825	589	3,651	2,158	254	652	119	144	1,039	1,380
22	28,298	18,303	581	3,620	2,214	221	668	122	134	1,045	1,390
23	28,446	18,423	575	3,587	2,257	204	680	118	129	1,083	1,390
24	28,999	18,835	587	3,583	2,366	176	664	117	119	1,121	1,431
25	28,587	18,540	577	3,532	2,297	175	653	118	119	1,159	1,417
男子	14,455	9,085	341	3,018	900	122	63	1	3	522	400
女子	14,132	9,455	236	514	1,397	53	590	117	116	637	1,017

注) 理数関係及び外国語関係はその他に分類されている(探究科学科を含む)。

表17 学科別生徒数構成比(本科のみ)

(単位:%)

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成20	100.0	63.8	2.2	13.3	7.9	0.9	2.3	0.4	0.5	3.7	5.0
21	100.0	64.1	2.1	13.1	7.8	0.9	2.3	0.4	0.5	3.7	5.0
22	100.0	64.7	2.1	12.8	7.8	0.8	2.4	0.4	0.5	3.7	4.9
23	100.0	64.8	2.0	12.6	7.9	0.7	2.4	0.4	0.5	3.8	4.9
24	100.0	65.0	2.0	12.4	8.2	0.6	2.3	0.4	0.4	3.9	4.9
25	100.0	64.9	2.0	12.4	8.0	0.6	2.3	0.4	0.4	4.1	5.0
男子	100.0	62.9	2.4	20.9	6.2	0.8	0.4	0.0	0.0	3.6	2.8
女子	100.0	66.9	1.7	3.6	9.9	0.4	4.2	0.8	0.8	4.5	7.2

注) 理数関係及び外国語関係はその他に分類されている(探究科学科を含む)。

(3) 教員数及び職員数

教員数（本務者）は2,308人（男子1,451人、女子857人）で、前年度より36人（1.5%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は37.1%である。

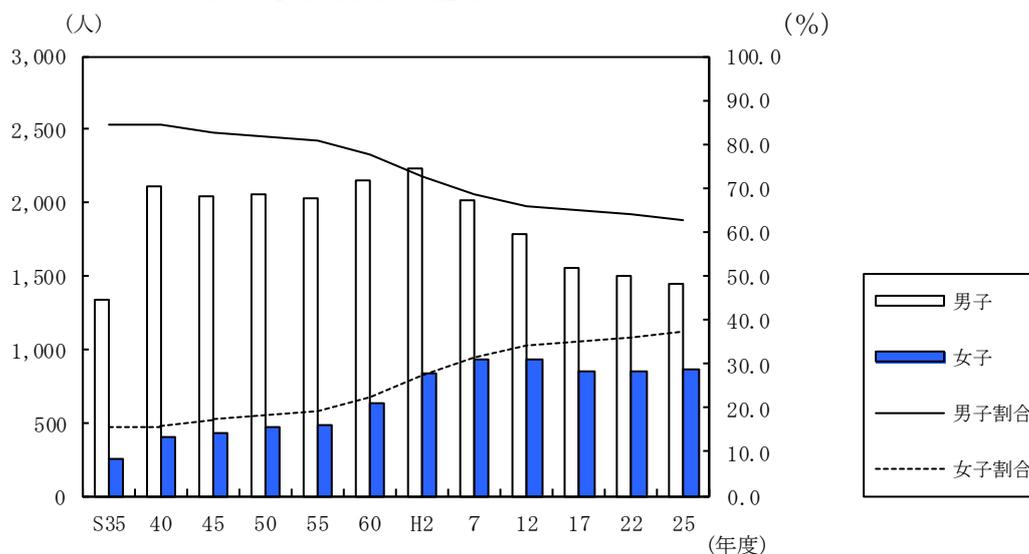
設置者別にみると、公立が1,893人（男子1,160人、女子733人）、私立が415人（男子291人、女子124人）となっている。

職員数は464人で、前年度より23人増加している。（表14、18、図9、統計表62、63、64）

表18 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成20	2,332	1,510	822
21	2,318	1,484	834
22	2,341	1,494	847
23	2,354	1,499	855
24	2,344	1,485	859
25	2,308	1,451	857

図9 男女別教員数の推移



【通信制課程】

(1) 学校数

学校数は2校（併置校2校）で、前年度と同数である。

(2) 生徒数

生徒数は858人（男子407人、女子451人）で、前年度より44人（4.9%）減少している。20歳以上について年齢別にみると、「20～24歳」が182人（構成比21.2%）で最も多く、次いで「25～29歳」が161人（同18.8%）、「30～39歳」が133人（同15.5%）などとなっている。

(3) 教員数

教員数（本務者）は19人で、前年度と同数である。

（統計表77、78、81）

5 特別支援学校

在学者数 増加

表19 特別支援学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A		C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり	
	学校数	学級数	在学者数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	在学者数 C/B	対前年度 増減数	在学者数 C/D	対前年度 増減数
平成20	13	368	1,174	3.5	896	0.0	3.2	0.2	1.3	0.0
21	13	351	1,171	△0.3	888	△0.9	3.3	0.1	1.3	0.0
22	13	348	1,185	1.2	891	0.3	3.4	0.1	1.3	0.0
23	13	351	1,215	2.5	892	0.1	3.5	0.1	1.4	0.1
24	13	347	1,227	1.0	908	1.8	3.5	0.0	1.4	0.0
25	15	345	1,243	1.3	907	△0.1	3.6	0.1	1.4	0.0
国立	1	9	59	0.0	30	△3.2	6.6	0.0	2.0	0.1
公立	14	336	1,184	1.4	877	0.0	3.5	0.0	1.4	0.1

(1) 学校数

学校数は15校で、前年度より2校増加（新設2校）している。

設置者別にみると、国立が1校、公立が14校となっている。

(2) 学級数

学級数は345学級で、その内訳は、幼稚部が5学級、小学部が128学級、中学部が88学級、高等部が124学級となっている。

(3) 在学者数

在学者数は1,243人（男子847人、女子396人）で、前年度より16人（1.3%）増加している。

(4) 教員数

教員数（本務者）は907人（男子277人、女子630人）で、前年度より1人（0.1%）減少している。

(表19、統計表82、83、84、87)

6 専修学校・各種学校

生徒数 専修学校、各種学校とも増加

【専修学校】

表20 専修学校の推移

(単位：校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		課程別生徒数(再掲)		
		計	男子	女子	本務者	兼務者	高等課程	専門課程	一般課程
平成20	32	3,282	976	2,306	299	1,063	148	3,031	103
21	32	3,147	978	2,169	293	1,059	146	2,906	95
22	31	3,390	1,071	2,319	276	1,089	168	3,122	100
23	31	3,339	1,043	2,296	268	1,104	162	3,119	58
24	32	3,338	927	2,411	285	1,116	171	3,132	35
25	32	3,442	935	2,507	294	1,094	182	3,221	39
公立	6	755	80	675	67	441	-	755	-
私立	26	2,687	855	1,832	227	653	182	2,466	39

(1) 学校数

学校数は32校で、前年度と同数で、このうち休校中の学校は4校(私立4校)であった。設置者別にみると、公立が6校、私立が26校となっている。(表20、統計表89、90)

(2) 生徒数

生徒数は3,442人で、前年度より104人(3.1%)増加している。

男女別にみると、男子が935人で、前年度より8人(0.9%)増加し、女子が2,507人で、前年度より96人(4.0%)増加している。

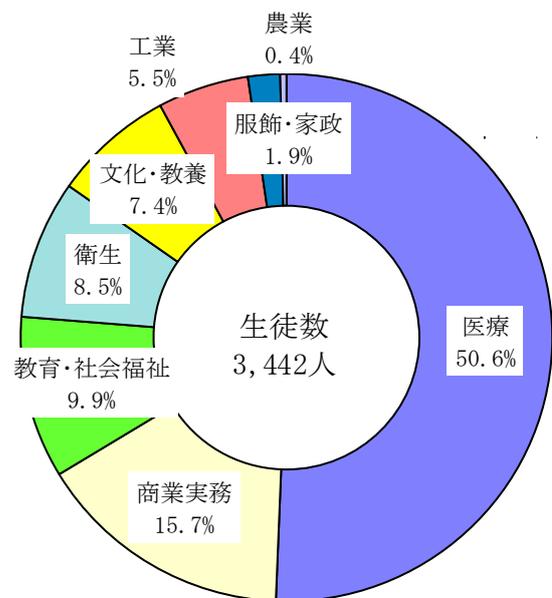
課程別では、高等課程が182人(構成比5.3%)、専門課程が3,221人(同93.6%)、一般課程が39人(同1.1%)となっている。

分野別では、医療関係1,743人、商業実務関係540人、教育・社会福祉関係342人の順に多い。

学科別では、看護1,215人、理学・作業療法183人、美容182人の順に多い。

(表20、図10、統計表89、93、94)

図10 専修学校の学科分野別生徒数の構成



(3) 教員数

教員のうち本務者は294人(男子92人、女子202人)で、前年度より9人(3.2%)増加し、兼務者は1,094人(男子594人、女子500人)で、前年度より22人(2.0%)減少している。

教員数(本務者)を課程別にみると、高等課程が13人、専門課程が272人、一般課程が9人となっている。設置者別では、公立が67人、私立が227人となっている。

(表20、統計表89、96)

【各種学校】

表21 各種学校の推移

(単位:校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		修業年限別生徒数(再掲)	
		計	男子	女子	本務者	兼務者	1年未満	1年以上
平成20	29	2,295	1,250	1,045	301	89	1,713	582
21	28	2,266	1,219	1,047	298	92	1,700	566
22	27	2,264	1,244	1,020	280	102	1,621	643
23	27	2,431	1,370	1,061	276	103	1,769	662
24	26	2,391	1,316	1,075	273	105	1,738	653
25	25	2,458	1,356	1,102	272	108	1,874	584
私立	25	2,458	1,356	1,102	272	108	1,874	584

(1) 学校数

学校数は25校で、前年度より1校減少(廃校1校)している。

(表21、統計表97)

(2) 生徒数

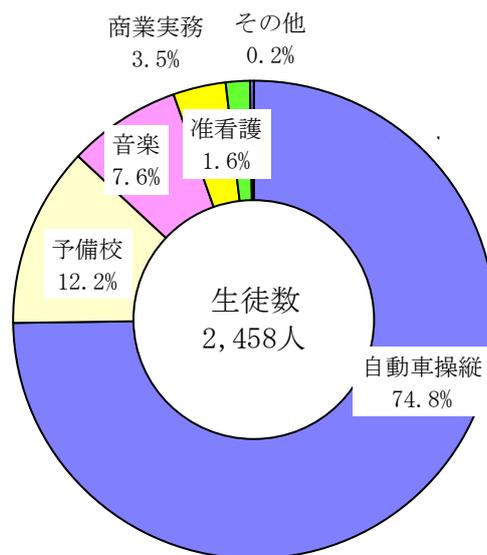
生徒数は2,458人で、前年度より67人(2.8%)増加している。

男女別にみると、男子が1,356人で、前年度より40人(3.0%)増加し、女子が1,102人で、前年度より27人(2.5%)増加している。

課程別では、自動車操縦1,838人、予備校300人、音楽187人の順に多い。

(表21、図11、統計表97、99)

図11 各種学校の課程別生徒数の構成



(3) 教員数

教員数のうち本務者は272人(男子241人、女子31人)で、前年度より1人(0.4%)減少し、兼務者は108人(男子67人、女子41人)で、前年度より3人(2.9%)増加している。

(表21、統計表97、102)

7 中学校（卒業後の状況）

高等学校等進学率 98.9% で全国第9位

表22 中学校卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I 進学率 B/A	J 就職率 (E+H)/A
平成20	10,060	9,916	—	8	61	73	2	2	98.6	0.6
21	9,843	9,697	4	3	38	101	—	1	98.5	0.4
22	10,531	10,379	—	1	39	112	—	4	98.6	0.4
23	10,044	9,932	1	1	31	79	—	2	98.9	0.3
24	10,308	10,194	3	3	28	79	1	2	98.9	0.3
25	10,098	9,982	1	1	26	87	1	2	98.9	0.3
男子	5,213	5,147	—	—	21	45	—	2	98.7	0.4
女子	4,885	4,835	1	1	5	42	1	—	99.0	0.1
国立	159	158	—	—	—	1	—	—	99.4	—
公立	9,827	9,712	1	1	26	86	1	2	98.8	0.3
私立	112	112	—	—	—	—	—	—	100.0	—

注)「D専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業生数

平成25年3月の中学校卒業生数は10,098人で、前年度より210人(2.0%)減少している。

男女別にみると、男子が5,213人で、前年度より59人(1.1%)増加し、女子が4,885人で、前年度より269人(5.2%)減少している。

進路別では、高等学校等進学者が9,982人(構成比98.9%)、専修学校高等課程進学者・専修学校一般課程等入学者が2人(同0.0%)、就職者が26人(同0.3%)などとなっている。

(表22、統計表106、107)

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は9,982人(男子5,147人、女子4,835人)で、前年度より212人(2.1%)減少している。その内訳は、高等学校全日制課程9,319人(構成比93.4%)、定時制課程320人(同3.2%)、高等専門学校231人(同2.3%)、特別支援学校高等部69人(同0.7%)、高等学校通信制課程43人(同0.4%)である。

他県への進学者数は130人で、前年度より18人(16.1%)増加し、進学者全体の1.3%であった。

(表22、23、統計表106、107)

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は98.9%(前年度98.9%)で、全国第9位(前年度第7位)であった。

男女別にみると、男子が98.7%(前年度98.8%)、女子が99.0%(前年度99.0%)となっている。

(表22、24、図12、統計表106、107)

表23 高等学校等進学者の進学先別内訳

(単位：人)

各年3月	高等学校等 進学者総数	高等学校			高等専門 学校	特別支援 学校高等部
		全日制	定時制	通信制		
平成20	9,916	9,189	293	64	322	48
21	9,697	8,918	351	58	325	45
22	10,379	9,660	360	49	257	53
23	9,932	9,253	311	57	251	60
24	10,194	9,497	331	44	267	55
25	9,982	9,319	320	43	231	69
男子	5,147	4,784	142	21	150	50
女子	4,835	4,535	178	22	81	19

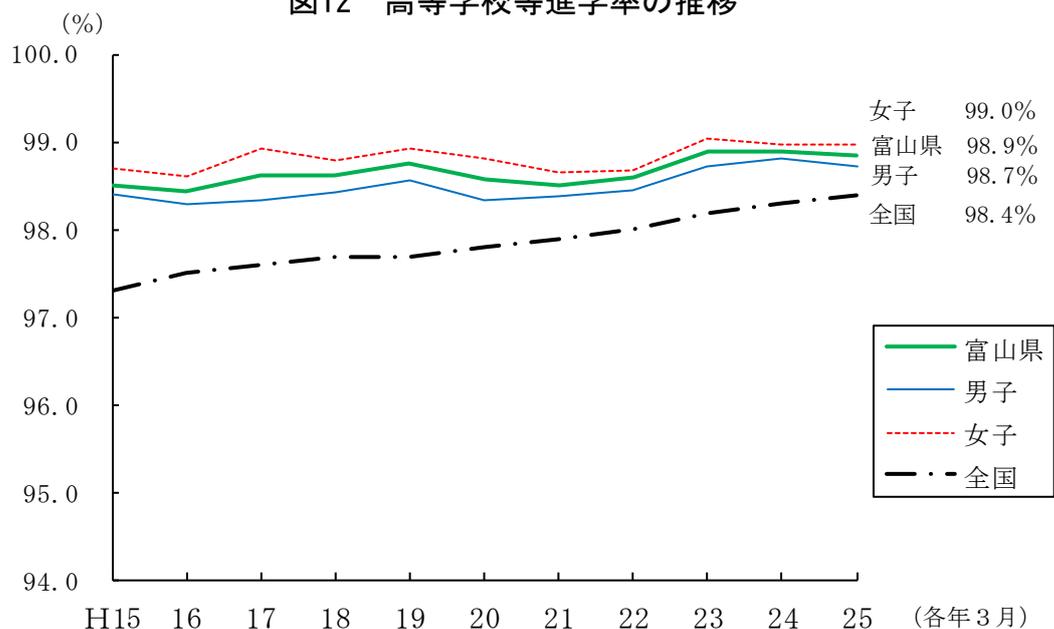
表24 高等学校等進学率の推移

(単位：%)

各年3月	富山県	男子	女子	全国
平成15	98.5	98.4	98.7	97.3
16	98.4	98.3	98.6	97.5
17	98.6	98.3	98.9	97.6
18	98.6	98.4	98.8	97.7
19	98.8	98.6	98.9	97.7
20	98.6	98.3	98.8	97.8
21	98.5	98.4	98.6	97.9
22	98.6	98.4	98.7	98.0
23	98.9	98.7	99.1	98.2
24	98.9	98.8	99.0	98.3
25	98.9	98.7	99.0	98.4

注) 高等学校等進学率は、通信制を含む。
 高等学校等進学率の最高は、平成6年の98.92%であった。(平成23年は98.88%、平成24年は98.89%、平成25年は98.85%)

図12 高等学校等進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表 22 の「E 就職者」と「H BCD のうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた全就職者数）は 28 人（男子 23 人、女子 5 人）で、前年度より 2 人（6.7%）減少している。その内訳は、就職者 26 人、就職進学者 2 人である。

就職率は 0.3%（男子 0.4%、女子 0.1%）であった。

就職者総数を産業別にみると、第 2 次産業が 16 人、第 3 次産業が 11 人などとなっている。

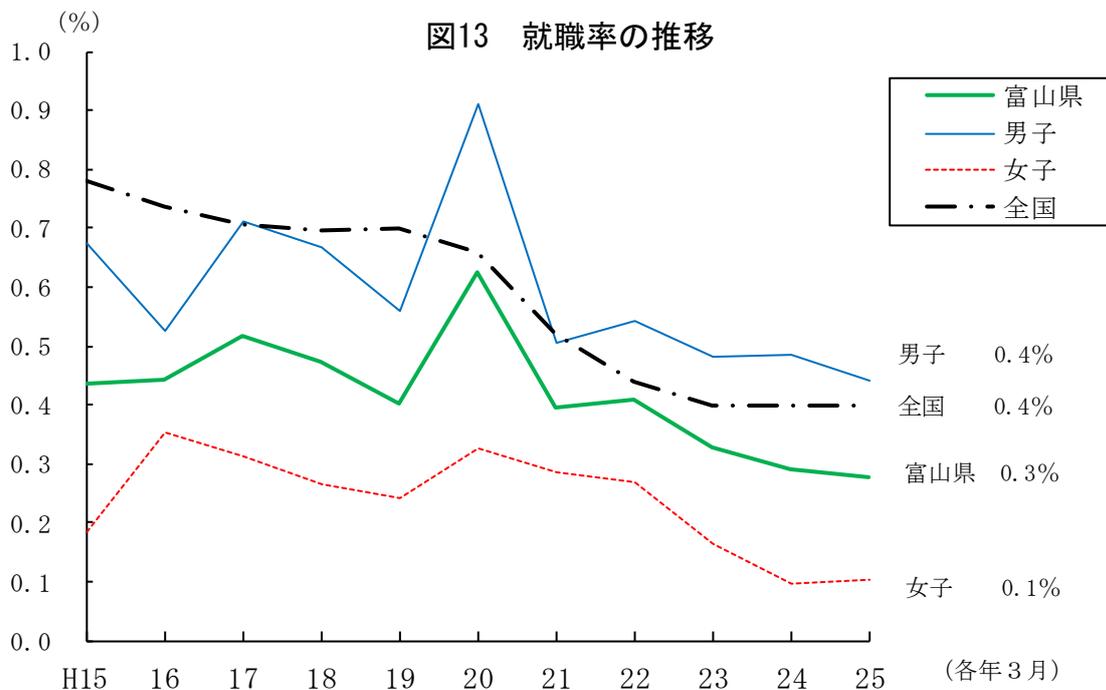
県内就職者数は 25 人（構成比 89.3%）で、前年度より 2 人（7.4%）減少している。

（表 22、25、図 13、統計表 106、107、109）

表25 就職者数及び県内就職率の推移

（単位：人、%）

各年 3 月	就職者総数	うち県内 就職者	県内就職率
平成15	48	45	93.8
16	49	46	93.9
17	54	51	94.4
18	48	46	95.8
19	41	40	97.6
20	63	56	88.9
21	39	37	94.9
22	43	40	93.0
23	33	30	90.9
24	30	27	90.0
25	28	25	89.3



8 高等学校（卒業後の状況）

大学等進学率 52.4% で全国第 17 位

県内就職率 94.3% で全国第 2 位

表 26 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業者の状況別推移

（単位：人、％）

各年 3月	A 卒業生数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 一時的な 仕事に 就いた者	G 左記以 外の者	H 不詳 死亡	I BCDのうち 就職してい る者(再掲)	J 大学等 進学率 B/A	K 就職率 (E+I)/A
平成20	9,320	5,091	1,454	724	1,886	43	121	1	10	54.6	20.3
21	8,986	4,867	1,408	668	1,876	47	120	—	1	54.2	20.9
22	9,041	4,989	1,588	672	1,620	31	141	—	9	55.2	18.0
23	8,926	4,837	1,506	737	1,708	51	85	2	13	54.2	19.3
24	8,791	4,683	1,486	682	1,791	46	100	3	11	53.3	20.5
25	9,556	5,003	1,724	664	1,957	66	142	—	12	52.4	20.6
男子	4,796	2,379	582	472	1,280	14	69	—	5	49.6	26.8
女子	4,760	2,624	1,142	192	677	52	73	—	7	55.1	14.4
公立	7,626	4,233	1,299	551	1,398	38	107	—	9	55.5	18.5
私立	1,930	770	425	113	559	28	35	—	3	39.9	29.1

注) 1 「A 卒業生数」は、全日制課程本科・定時制課程本科の卒業生数。

2 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

3 「F 一時的な仕事に就いた者」は、パートやアルバイト等の臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者の数で、就職率には含まれていない。

(1) 卒業生数

平成 25 年 3 月の高等学校卒業生数は 9,556 人で、前年度より 765 人 (8.7%) 増加している。

男女別にみると、男子が 4,796 人で、前年度より 448 人 (10.3%) 増加し、女子が 4,760 人で、前年度より 317 人 (7.1%) 増加している。

設置者別では、公立が 7,626 人、私立が 1,930 人となっている。

課程別では、全日制課程が 9,209 人、定時制課程が 347 人となっている。

進路別では、大学等進学者が 5,003 人 (構成比 52.4%)、専修学校専門課程進学者が 1,724 人 (同 18.0%)、専修学校一般課程等入学者が 664 人 (同 6.9%)、就職者が 1,957 人 (同 20.5%)、一時的な仕事に就いた者が 66 人 (同 0.7%) などとなっている。

(表 26、統計表 111、112、113、114)

(2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は 5,003 人 (男子 2,379 人、女子 2,624 人) で、前年度より 320 人 (6.8%) 増加している。その内訳は、大学学部 4,160 人 (男子 2,256 人、女子 1,904 人) (構成比 83.2%)、短期大学本科 780 人 (男子 114 人、女子 666 人) (同 15.6%)、高等学校専攻科 61 人 (同 1.2%)、特別支援学校高等部専攻科 1 人 (同 0.0%)、大学・短大の通信教育部 1 人 (同 0.0%) である。

卒業学科別にみると、普通科が 3,950 人 (構成比 79.0%)、農業科が 30 人 (同 0.6%)、工業科が 187 人 (同 3.7%)、商業科が 271 人 (同 5.4%)、水産科が 14 人 (同 0.3%)、家庭

科が56人(同1.1%)、看護科が35人(同0.7%)、福祉科が17人(同0.3%)、理数関係又は外国語関係など(統計表では「その他」に計上)が200人(同4.0%)、総合学科が243人(同4.9%)となっている。(表26、27、統計表111、112)

表27 大学等進学者の進学先別内訳

(単位：人)

各年 3月	大学(学部)			短大(本科)			大学・短大 の別科	高等学校 専攻科	特別支援学校 高等部専攻科	大学・短大の 通信教育部
	計	男子	女子	計	男子	女子				
平成20	4,196	2,288	1,908	820	128	692	—	73	—	2
21	4,058	2,194	1,864	745	90	655	—	64	—	—
22	4,099	2,232	1,867	798	115	683	—	91	1	—
23	4,025	2,169	1,856	730	111	619	1	78	—	3
24	3,905	2,086	1,819	699	101	598	—	75	1	3
25	4,160	2,256	1,904	780	114	666	—	61	1	1

(3) 大学等進学率

大学等進学率は52.4%で、前年度より0.9ポイント低下し、全国第17位(前年度第16位)であった。このうち大学学部への進学率は43.5%で、前年度より0.9ポイント低下し、短期大学本科への進学率は8.2%で、前年度より0.2ポイント上昇している。

男女別にみると、男子が49.6%(前年度50.7%)、女子が55.1%(前年度55.8%)で、女子の大学等進学率が男子を上回っている。大学学部への進学率では、男子が47.0%(前年度48.0%)、女子が40.0%(前年度40.9%)と、男子が女子を上回っている。なお、女子の進学率の内訳では、大学学部への進学率(40.0%)が短期大学本科への進学率(14.0%)を上回っている。

卒業学科別では、普通科が63.4%(前年度65.0%)、農業科が16.0%(前年度12.5%)、工業科が15.7%(前年度16.5%)、商業科が34.1%(前年度37.7%)、水産科が25.5%(前年度14.0%)、家庭科が27.9%(前年度28.8%)、看護科が97.2%(前年度100.0%)、福祉科が42.5%(前年度26.5%)、理数関係又は外国語関係など(統計表では「その他」に計上)が58.0%(前年度61.7%)、総合学科が50.9%(前年度51.7%)となっている。

(表26、28、図14、15、16、統計表111、112)

表28 大学等進学率の推移

(単位：%)

各年3月	富山県	男子	女子	全国
平成15	48.3	47.2	49.4	44.6
16	48.6	47.2	50.1	45.3
17	50.5	49.0	52.1	47.3
18	51.4	50.2	52.5	49.3
19	53.6	51.5	55.7	51.2
20	54.6	52.0	57.3	52.8
21	54.2	50.5	58.0	53.9
22	55.2	52.5	57.9	54.3
23	54.2	51.1	57.3	53.9
24	53.3	50.7	55.8	53.5
25	52.4	49.6	55.1	53.2

注) 大学等進学率の最高は、平成22年の55.2%であった。
男女別では、男子平成22年52.5%、女子平成21年58.0%であった。

図14 大学等進学率の推移（全国比較）

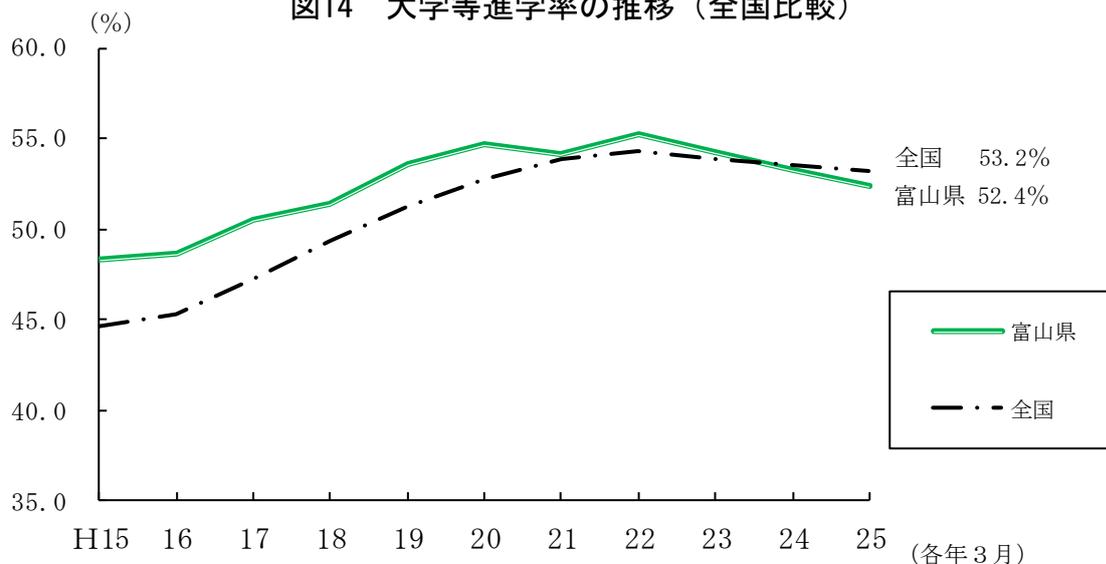


図15 大学等進学率の推移（男女別全国比較）

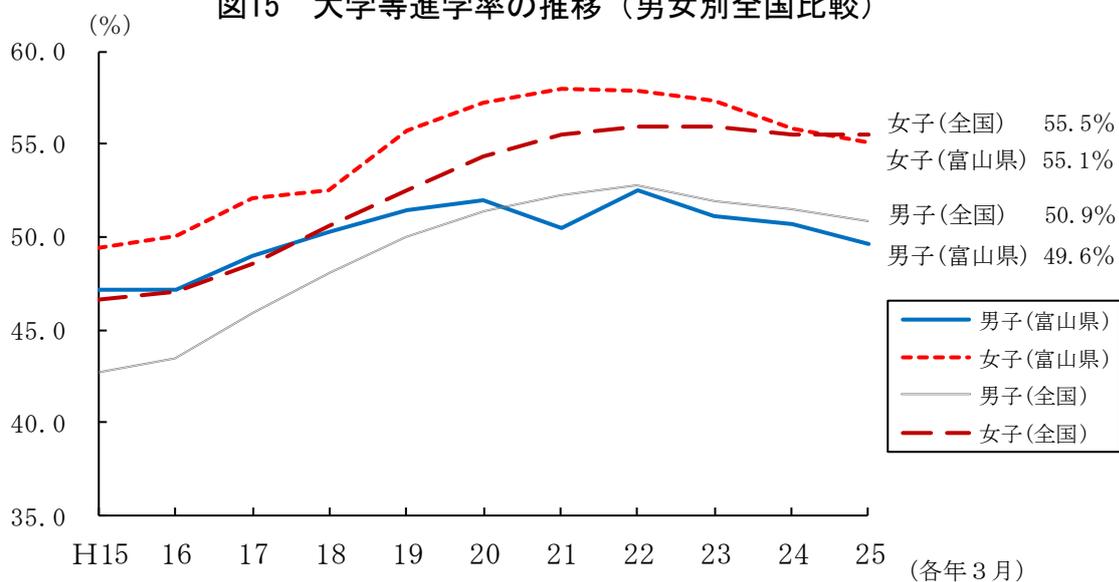
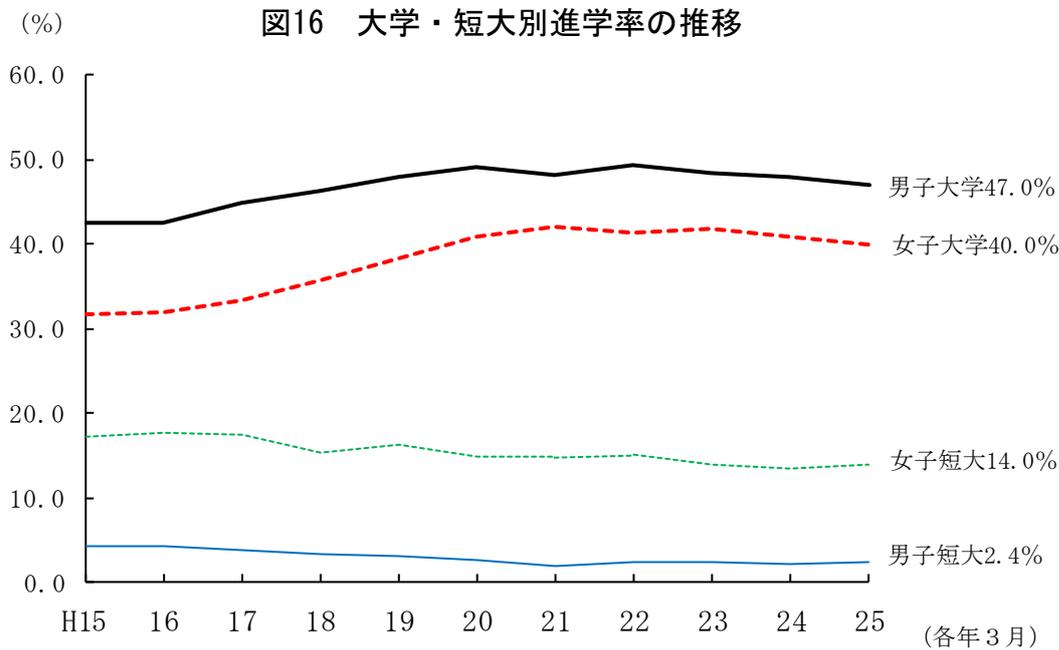


図16 大学・短大別進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表26の「E就職者」と「I BCDのうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた全就職者数）は1,969人（男子1,285人、女子684人）で、前年度より167人（9.3%）増加している。その内訳は、就職者1,957人、就職進学者12人であった。

就職率は20.6%で、前年度より0.1ポイント上昇し、全国の17.0%を上回っている。男女別にみると、男子が26.8%（前年度26.6%）、女子が14.4%（前年度14.6%）となっている。

就職者総数を産業別にみると、「製造業」が1,044人（構成比53.0%）で最も多く、次いで「建設業」が171人（同8.7%）、「卸売業・小売業」が163人（同8.3%）などとなっている。

職業別では、「生産工程従事者」が1,012人（構成比51.4%）で最も多く、次いで「サービス職業従事者」が221人（同11.2%）、「販売従事者」が136人（同6.9%）などとなっている。

就職先を県内・県外別にみると、県内就職者数が1,857人で、県外就職者数の112人を大きく上回っており、県内就職率は94.3%と、前年度より0.1ポイント上昇し、全国第2位（前年度第2位）であった。

県外就職者の都道府県別では、石川県36人、大阪府23人、東京都14人、愛知県13人などとなっている。

（表26、29、図17、18、19、統計表111、112、116、117、118、119）

図17 就職者の産業別割合

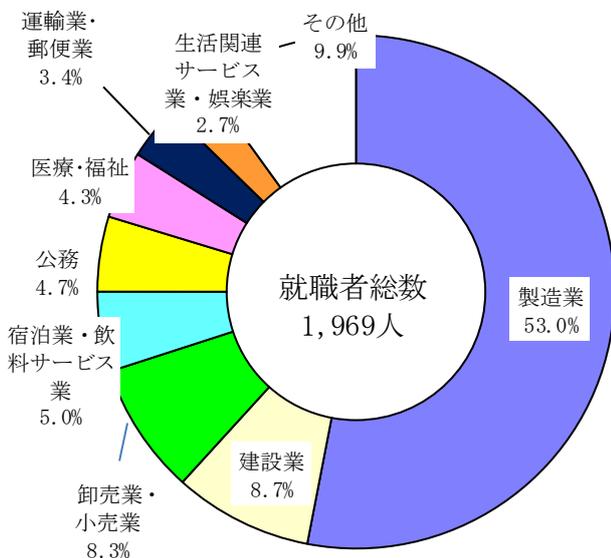


図18 就職者の職業別割合

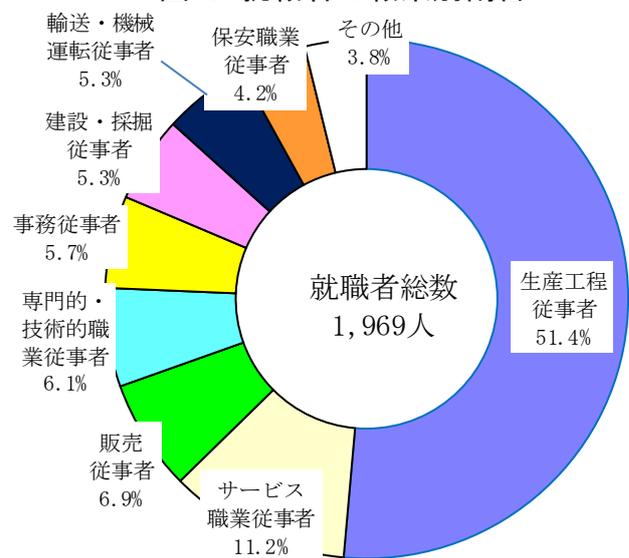
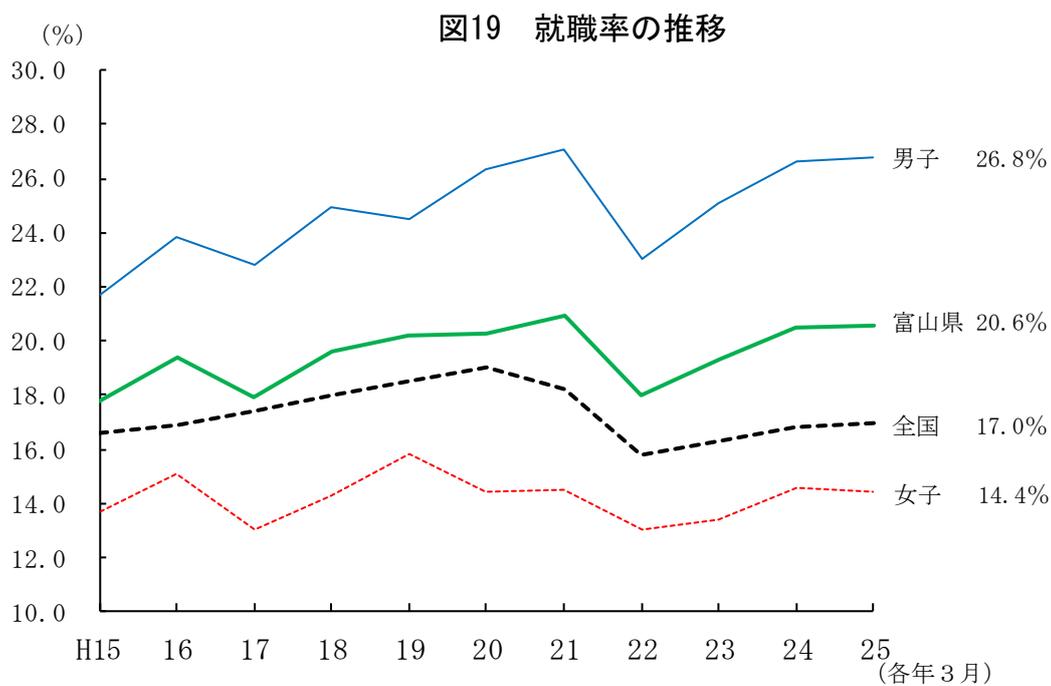


表 29 就職者数及び県内就職率の推移

(単位：人、%)

各年3月	就職者総数	うち県内 就職者	県内就職率
平成15	1,994	1,837	92.1
16	2,092	1,966	94.0
17	1,880	1,747	92.9
18	1,955	1,838	94.0
19	2,012	1,882	93.5
20	1,896	1,742	91.9
21	1,877	1,715	91.4
22	1,629	1,502	92.2
23	1,721	1,610	93.6
24	1,802	1,698	94.2
25	1,969	1,857	94.3



9 特別支援学校（卒業後の状況）

【中学部】

表 30 特別支援学校中学部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
平成20	91	89	—	—	—	2	—	—	1	97.8	—
21	102	99	—	—	—	3	—	—	2	97.1	—
22	111	108	—	1	—	2	—	—	1	97.3	—
23	96	94	—	—	—	2	—	—	—	97.9	—
24	123	120	—	—	—	3	—	—	2	97.6	—
25	114	114	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業生数

平成 25 年 3 月の特別支援学校中学部卒業生数は 114 人で、前年度より 9 人 (7.3%) 減少している。

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は 114 人で、前年度より 6 人 (5.0%) 減少している。

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は 100.0% となり、前年度より 2.4 ポイント上昇している。

(4) 就職状況

就職者数は 0 人で、前年度と同数である。

(表 30、統計表 110)

【高等部】

表 31 特別支援学校高等部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 大学等 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
平成20	121	1	1	3	30	86	—	—	70	0.8	24.8
21	158	3	—	2	37	116	—	—	91	1.9	23.4
22	141	1	—	1	37	102	—	—	81	0.7	26.2
23	136	3	1	—	31	101	—	—	86	2.2	22.8
24	145	3	—	3	35	104	—	—	96	2.1	24.1
25	153	4	1	1	42	105	—	—	86	2.6	27.5

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業生数

平成 25 年 3 月の特別支援学校高等部卒業生数は 153 人で、前年度より 8 人 (5.5%) 増加している。

(2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は 4 人で、前年度より 1 人 (33.3%) 増加している。

(3) 大学等進学率

大学等進学率は 2.6% となり、前年度より 0.5 ポイント上昇している。

(4) 就職状況

就職者数は 42 人で、前年度より 7 人 (20.0%) 増加している。

(表 31、統計表 120)